

97カンヌ映画祭グランプリ受賞 + 97アカデミー賞ノミネート(監督賞/脚色賞)



# THE SWEET HEREAFTER

A FILM BY ATOM EGOYAN

ALLIANCE COMMUNICATIONS PRESENTS AN EGO FILM ARTS PRODUCTION IAN HOLM IN THE SWEET HEREAFTER A FILM BY ATOM EGOYAN CAST MAURY CHAYKIN PETER DONALDSON BRUCE GREENWOOD DAVID HEMBLEN BROOKE JOHNSON ARSINÉE KHANJIAN TOM McCAMUS STEPHANIE MORGENSTERN EARL PASTKO SARAH POLLEY GABRIELLE ROSE ALBERTA WATSON DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY PAUL SAROSSY PRODUCTION DESIGN PHILLIP BARKER MUSIC MYCHAEL DANNA SOUND DESIGN STEVE MUNRO EDITOR SUSAN SHIPTON COSTUME DESIGN BETH PASTERNAK ASSOCIATE PRODUCER DAVID WEBB LINE PRODUCER SANDRA CUNNINGHAM SCREENPLAY BY ATOM EGOYAN BASED ON THE NOVEL BY RUSSELL BANKS EXECUTIVE PRODUCERS ROBERT LANTOS AND ANDRAS HAMORI PRODUCED BY CAMELIA FRIEBERG AND ATOM EGOYAN DIRECTED BY ATOM EGOYAN produced with the participation of telefilm canada, the harold greenberg fund and the movie network with the assistance of the government of canada-canadian film or video production tax credit program. ©1997 The Sweet Hereafter, a division of Speaking Parts Limited 監督・脚本アトム・エゴヤン 原作・ラッセル・バンクス 出演・イアン・ホルム、サラ・ポリー、ブルース・グリーンウッド 原作本「この世を離れて」早川書房刊、「ハメルンの笛ふき」文化出版局刊・詩・ロバート・ブラウニング・訳・矢川澄子/提供・フジテレビ、ボニーキャニオン、KUZUIエンタープライズ/後援・カナダ大使館 配給・KUZUIエンタープライズ

KUZUIエンタープライズ

# スウィート ヒアアフター

スクールバスは湖に沈み、小さな町は悲しみに包まれた 喪失の日々を乗り越えてたどりつく、穏やかなその後



笛のねはきえ ふときがつくと  
山のこちらに ただぼくひとり  
こころならずも とりのこされて

ロバート・ブラウニング「ハメルンの笛ふき」より



- 97カンヌ映画祭グランプリ受賞
- 97カンヌ映画祭国際批評家協会賞受賞
- 97カンヌ映画祭全キリスト協会賞受賞
- 97アカデミー賞ノミネート<監督賞/脚色賞>
- 97D.W.グリフィス賞ベスト・アンサンブル賞受賞
- 97カナダ・ジェニー賞主要8部門受賞
- 98インディペンデント・スピリッツ賞外国映画賞受賞



### 童話『ハメルンの笛ふき』をモチーフに描く、繊細で心を震わせるヒューマン・ドラマ

ある冬の日、子供たちの楽しげな声に包まれて走っていたスクールバスが、凍った道路から湖に転落し、22人の犠牲者を出した。ほどなくして有能な弁護士ステーブンスが、この悲しみに包まれた町にやってくる。彼は子供を亡くした親の怒りをあおり立て、悲しみのやりばを求めていた人々に、集団訴訟を起こすよう説得する。ステーブンスが彼らと話す過程で明らかになる、町の人々の複雑な関係と隠されていた秘密。生き残った少女ニコールは、事故と訴訟沙汰によってバラバラになりかけていた町を再び一つにするため、勇気をもって“偽証”を行う。町には独特の法としきたりがあり、彼女によって運命を受け入れた町の人々は、辛いながらも現実を受け入れ、穏やかな日々を生きていく。

### 世界中を深い感動で包み込んだ、アトム・エゴヤン最新作

欧米ではかねてより世界の若手NO.1と目されてきた、カナダが世界に誇る傑出した才能アトム・エゴヤン監督。エゴヤンはドイツの童話『ハメルンの笛ふき』を下敷きにしたブラウニングの詩を再読し、ラッセル・バンクスの名作『この世を離れて』のテーマを把握したという。彼は小説にはなかったこの童話のエッセンスを映画に取り入れ、“心ならずも取り残された”少女ニコールにその物語を語らせ、登場人物たちを重ね合わせる。エゴヤンは死と悲しみを描きながら、どんな理不尽な悲劇に対しても人間は尊厳をもって対処できるのだということを、力強く、心を込めて伝えている。そして、最後には癒しと運命との和解をイメージさせる一条の光が輝く。

スクールバスは湖に沈み、

小さな町は悲しみに包まれた

喪失の日々を乗り越えてたどりつく、

穏やかなその後



# スウィート ヒアアフター

THE SWEET HEREAFTER



アトム・エゴヤン監督は語る

“真実を語るための嘘”  
「ニコールはとても非凡で、物語の中で唯一ステーブンスに立ち向かうことのできる人物だ。そして、唯一子供たちを守り、その発言によって町の結束を存続させ得る人物なのだ。真実を語るには大きな責任が伴う。ニコールは真実を述べ、彼女と父親、そして観客だけが知るもう一つの真実を明らかにする。その真実を語るために、彼女は嘘をつく。それが、私をこの小説に引きつけた。真実に直面し、それと折り合いをつけ、人生を生き続けていくその姿が」



CREW: 監督+脚本:アトム・エゴヤン

撮影:ポール・サロシー

音楽:マイケル・ダンナ

CAST: イアン・ホルム、サラ・ポーリー、ブルース・グリーンウッド



### スウィート ヒアアフター = 穏やかなその後

「スウィート ヒアアフター」とは、原作者のラッセル・バンクスが黒人霊歌からとったもので、正確には「In the sweet hereafter, we'll all live together(スウィート ヒアアフターで、私たちは皆一緒に暮らすだろう)」というもの。これは『ハメルンの笛ふき』の詩の一部にも相当する。“彼は言った。私たちを楽しい場所に連れていくと。そこには水がほとぼしり、果樹が生い茂り、花々は色鮮やかに咲き乱れ、すべてが見たこともない目新しいものばかりだ”。映画の感動的なラストシーンで、ニコールが“スウィート ヒアアフター”を口にするとき、そこには悲劇を乗り越える力を持った、崇高な人間の存在が見えてくる。

### エゴヤン・ファミリーの絶妙なコラボレーション

物語の進行役ともなる弁護士ステーブンスには、イギリスの名優イアン・ホルム。訴訟の鍵を握る車椅子の少女ニコールには、エゴヤン監督の前作「エキゾチカ」でも透明感溢れる表情で強い印象を残したサラ・ポーリー。若いころのユマ・サーマンを思わせるアンニュイな雰囲気も漂わせながら、しだいに映画のテーマになう“人間の尊厳”の象徴として存在感を増していく。カナダのロック・バンド、トラジカリー・ヒップの曲『カレッジ』が全編を通して使用され、エンド・クレジットではサラ・ポーリーが歌うバージョンが流れる。ほかに「エキゾチカ」で主演したブルース・グリーンウッドや公私にわたる伴侶アルシネ・カーンジャンら、エゴヤン・ファミリーともいえる役者たちが顔をそろえ、リアルな人間像を作り出している。

### ドイツに伝わる童話『ハメルンの笛ふき』

帽子をかぶりマントを着た男がハメルンの町にネズミ退治にやってくる。男が笛を吹くと、町中のネズミが後をついて川に溺れて沈んだ。男は約束の金を要求したが、町長や町の人々は払わなかった。男は再び笛を吹き始めた。今度は町中の子供たちが現れ、男の後をついて丘へ向かって歩きだし、麓の大きな洞穴に次々と入って行った。けれども最後に、足の不自由な少年が入ろうとすると、洞穴が閉じてしまった。そして二度と子供たちは帰らなかった。たった一人、心ならずも取り残された少年によると、笛ふき男は、これからみんなを素晴らしい不思議な国へ連れて行ってあげる、と約束したそう。そこへ行けばみんなはいつまでも幸せに暮らせて、足が悪いのも治ってしまう。友達がいなくなった少年は、その日のことを寂しい顔で後々まで語るのだった。映画の中で童話『ハメルンの笛ふき』は、縦横に交錯し、イメージを深く掘り下げている。

1997年/カナダ映画/1時間50分/ドルビーSRD/カラー/シネマスコープ/6巻3,014円/日本語字幕: 戸田奈津子  
 原作本: 『この世を離れて』早川書房刊/『ハメルンの笛ふき』文化出版局刊・詩: 口ハート・ブラウニング・訳: 矢川澄子  
 提供: フジテレビ、ポニーキャニオン、KUZUIエンタープライズ/後援: カナダ大使館/配給: **KUZUIエンタープライズ**

## 8月22日(土)より感動のロードショー!

\*8/25(火)・26(水)は休館致します。\*上映終了日は劇場までお問い合わせ下さい。\*各回入れ替え制です。

①12:50 ②3:05 ③5:20 ④7:35~9:40

★前売鑑賞券¥1500(当日一般券 ¥1800の差)絶賛発売中! \*劇場窓口ほか、ぴあ、ローソンなど市内各所のプレイガイドでお求め下さい。

心斎橋BIG STEP 4F 06(282)1460

パラダイスシネマ